

首都圏スリードーナツ構想が生みだすスポーツライフ夢プロジェクト

—道路の「開放化」と山手線の「地下化」に望みを託して—

日本大学文理学部体育学科

松本卓也

小久保翔太

小宮麻衣子

安藤佑生

浅野雄太

清水知佳子

プレゼンテーションの内容

- 1 東日本大震災の復興計画にみる道路
- 2 運動・スポーツの時間と場所の現状
- 3 首都圏スリードーナツ化構想
- 4 政策提言と期待される効果
- 5 まとめ



延焼防止対策としての道路利用

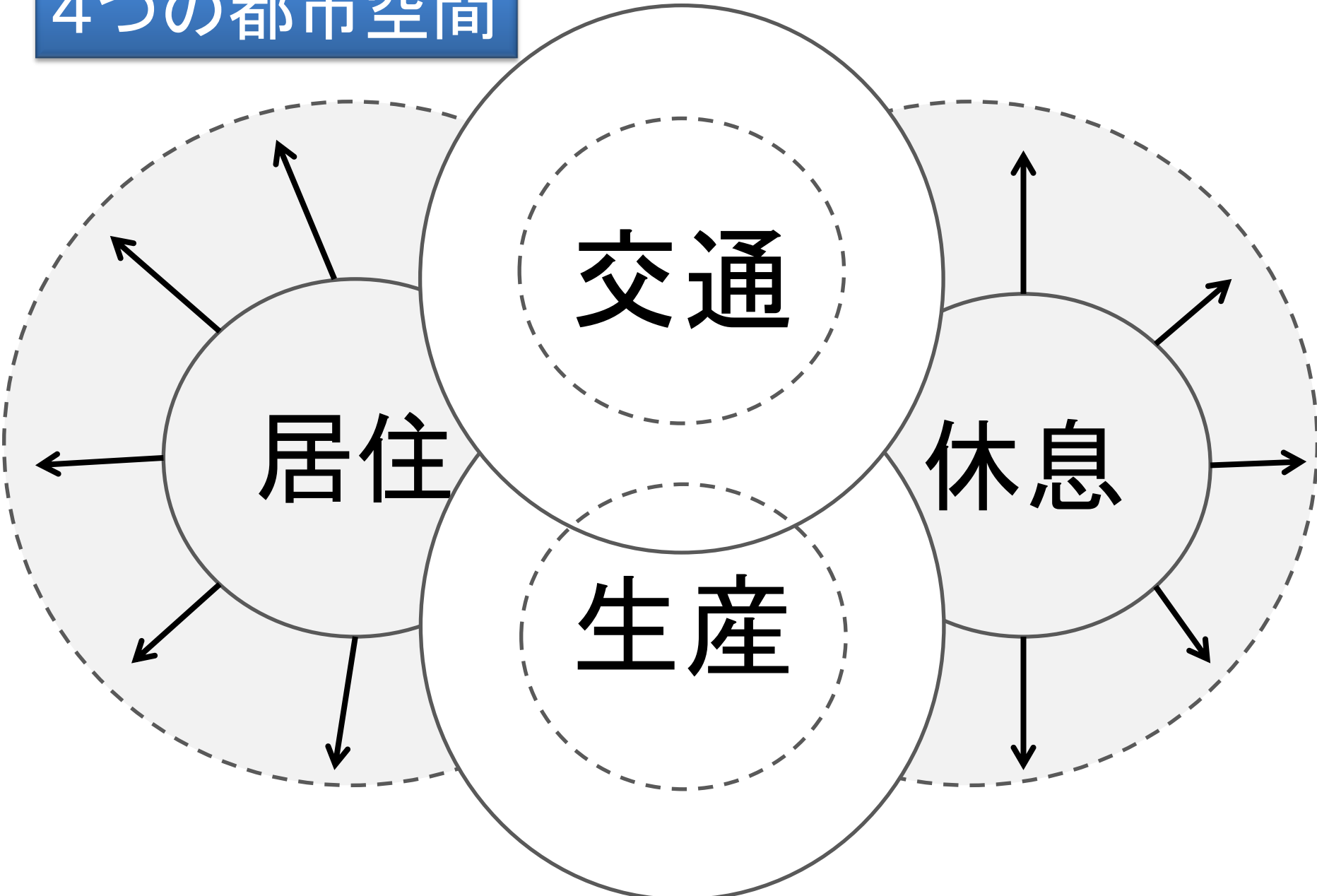


兵庫県松本地区(震災直後)

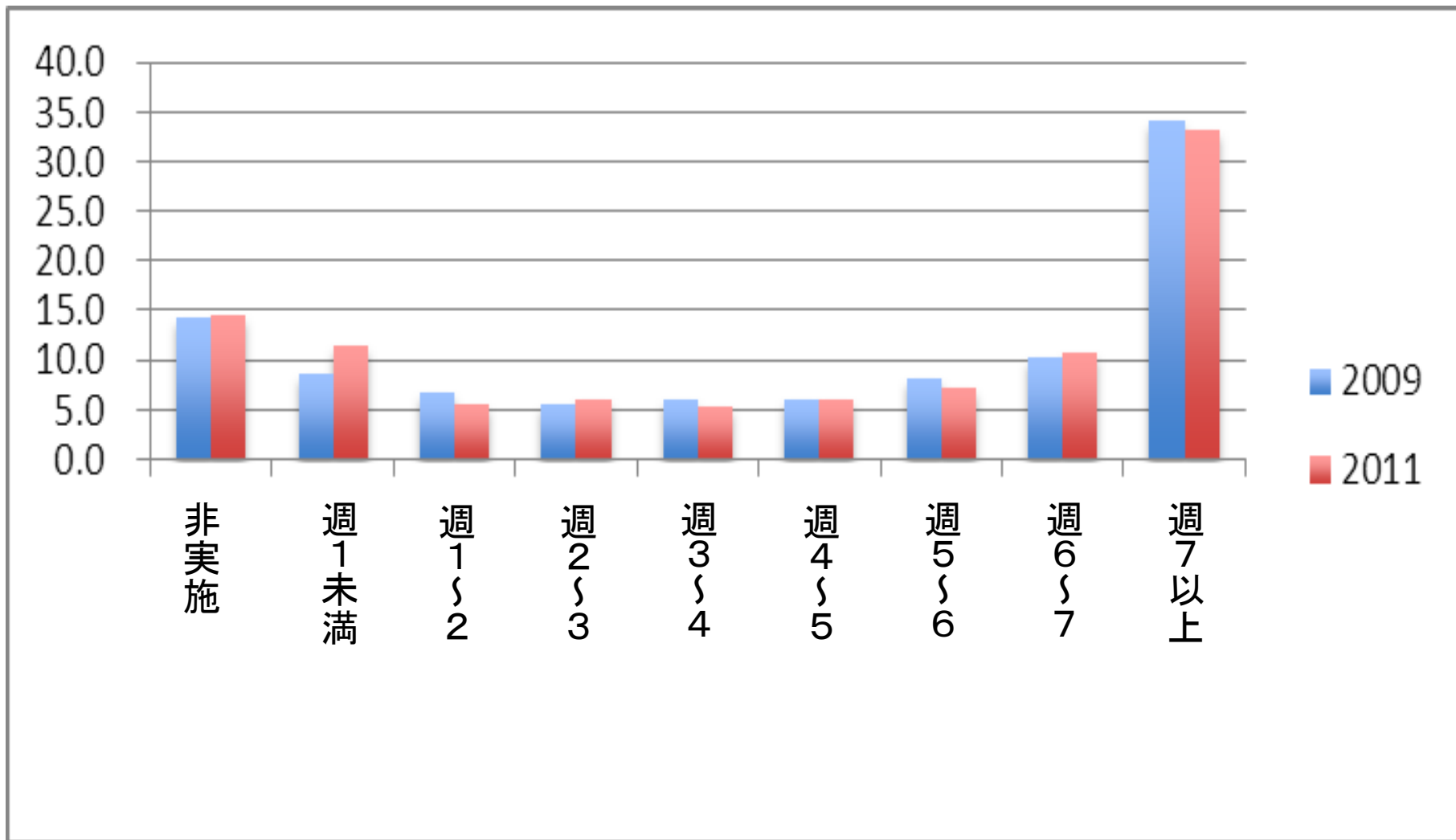


兵庫県松本地区(復旧後)

4つの都市空間



青少年(10~19歳)の運動実施率



運動・スポーツ施設利用率(性別×就学状況別)

順位	施設	未就学児		小学生	
		男子(n=191)	女子(n=157)	男子(n=430)	女子(n=418)
1	園庭・校庭・学校のグラウンド	25.1	26.1	58.4	44.3
2	公園	26.2	22.3	23.5	16.0
3	自宅や友人・知人などの家の周り	23.0	21.7	13.3	18.4
4	スイミングスクール(スイミングクラブ)	12.0	6.4	19.8	17.5
5	幼稚園・保育園・学校	15.7	21.0	13	13.2
6	幼稚園・保育園・学校の体育館	13.6	10.8	11.9	15.8
7	スポーツクラブ(フィットネスクラブ)	4.7	5.1	10.5	5.7
8	自宅や友人・知人などの家の庭	7.3	3.2	6.5	8.6
	道路	4.7	7.6	6.3	8.4
10	プール	3.7	6.4	2.1	4.3
11	海・海岸・港	3.1	5.7	1.9	2.9
12	自宅や友人・知人などの家の中	5.8	5.7	1.4	1.9
13	自宅や友人・知人などの家	1.6	6.4	2.3	2.6
14	公民館・コミュニティセンター・福祉会館	1.6	1.9	2.8	3.3
15	空地・広場	2.6	2.5	2.8	1.9
	湯遅延・保育園・学校の周り	1.0	0.6	5.3	0.7
17	体育館	0.5	1.9	2.8	2.9
18	バレエ教室	0.0	4.5	0.2	3.8
19	スキー場	1.0	1.9	2.6	1.7
	武道場	1.6	0.0	3.7	1.0

一番好きな遊び(三歳～小学生)

区分	男子			女子		
	幼児	小学校低学年	小学校高学年	幼児	小学校低学年	小学校高学年
標本数(人)	81	80	80	86	75	81
テレビゲーム携帯ゲーム(ゲームボーイなど)	7.4	43.8	42.5	1.2	10.7	17.3
マンガ・雑誌	0.0	1.3	1.3	2.3	4.0	21.0
ラジコン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ミニ四駆	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
カードゲーム	0.0	11.3	13.8	1.2	2.7	1.2
ボードゲーム	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
プラモデル	0.0	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0
将棋・オセロ	0.0	2.5	1.3	0.0	0.0	0.0
トランプ	0.0	1.3	0.0	1.2	1.3	2.5
ブロック遊び	7.4	0.0	2.5	3.5	0.0	0.0
ロボット・人形遊び	7.4	1.3	0.0	10.5	8.0	3.7
おもちゃ	32.1	5.0	1.3	4.7	1.3	0.0
お絵かき	0.0	0.0	1.3	11.6	16.0	7.4
ままごと	0.0	0.0	0.0	8.1	0.0	0.0
ごっこ遊び	13.6	3.8	0.0	19.8	8.0	0.0
サッカー	3.7	13.8	13.8	0.0	0.0	1.2
野球	1.2	3.8	16.3	0.0	0.0	1.2
ドッジボール	0.0	2.5	1.3	0.0	9.3	4.9
バスケットボール	0.0	0.0	1.3	0.0	1.3	9.9
バドミントン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9
自転車	11.1	1.3	0.0	7.0	2.7	1.2
一輪車	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	1.2
ローラーブレード	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0
なわとび	0.0	0.0	0.0	1.2	4.0	0.0
ボール遊び	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	3.7
おにごっこ	0.0	3.8	0.0	0.0	8.0	1.2
かくれんぼ	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0
砂遊び	6.2	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0
その他	8.6	2.5	2.5	17.4	12.0	13.6
不明	1.2	1.3	0.0	3.5	1.3	2.5

現在の運動・スポーツの取り組みについて

運動・スポーツを行っており、満足している	20.3%
運動・スポーツを行っているが、もっと行いたい	23.2%
運動・スポーツを行いたいと思うことができない	43.6%
特に運動スポーツに関心はない	12.8%

さらに

43.6%と最も回答の多かった「行いたいと思うことができない」について理由を聞くと

時間がないから	53.8%
機会がないから	27.8%
病気のため、体調不良だから	20.3%
生活の中で自然に体を動かしている	18.4%

⇒ 81.6%

問題解決のために 1

- (1) キツザニアのスポーツバージョン化
- (2) 職場の運動・スポーツ活動時間の義務化
- (3) 首都圏スリードーナツ化構想



身近な生活／暮らしの空間で
時間と場所を確保するために

問題解決のために 2

(1)の場合、固定施設なのでその場所へ行かないと利用できないためあまり多くの人に利用してもらえないということ

(2)の場合、運動を法律または条例として義務にするのは難しいということ



(3)の首都圏スリードーナツ化構想の可能性を探りました

首都圏スリードーナツ化構想

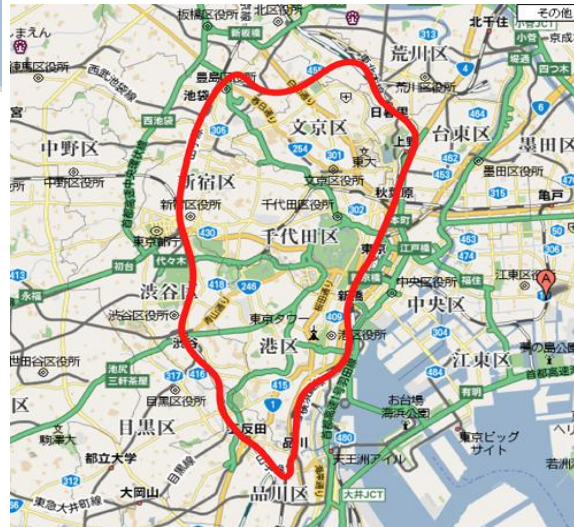
環状七号線



環状八号線



山手線



環状七号線・環状八号線の基本データ

環状七号線

- 総延長 約52.5km
- 交通量 1日 6万台～7万台
- 車線数 4～6車線
- 幅員 2.75～3.5m



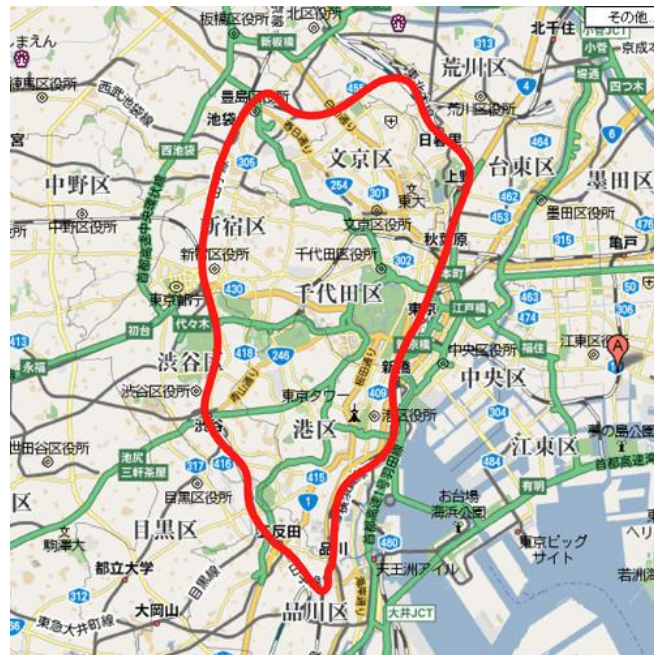
環状八号線

- 総延長 約44.22km
- 交通量 1日 6万台～7万台
- 車線数 4～6車線
- 幅員 2.75～3.5m

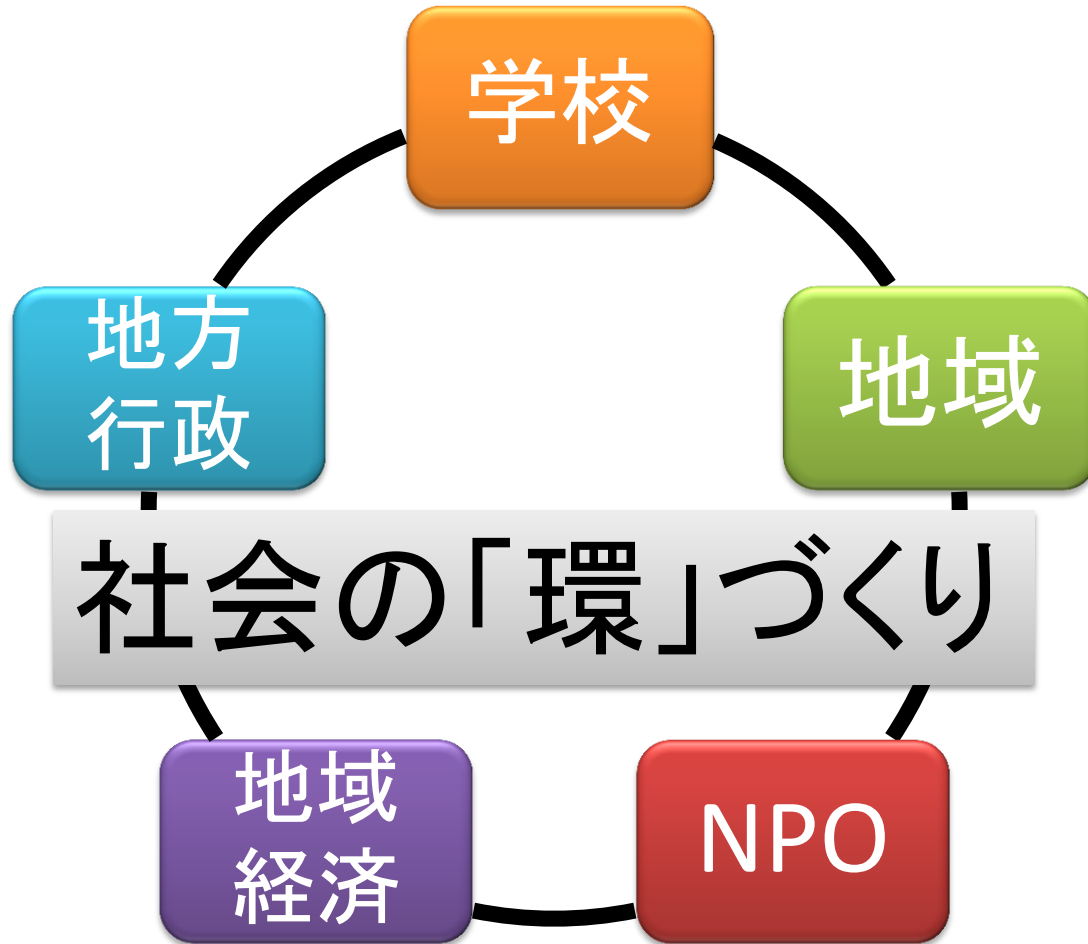


山手線基本データ(環状路線として)

- 路線距離 34.5km
- 駅数 29駅
- 起点 品川駅
- 1周の所要時間 最速59分 平均64分



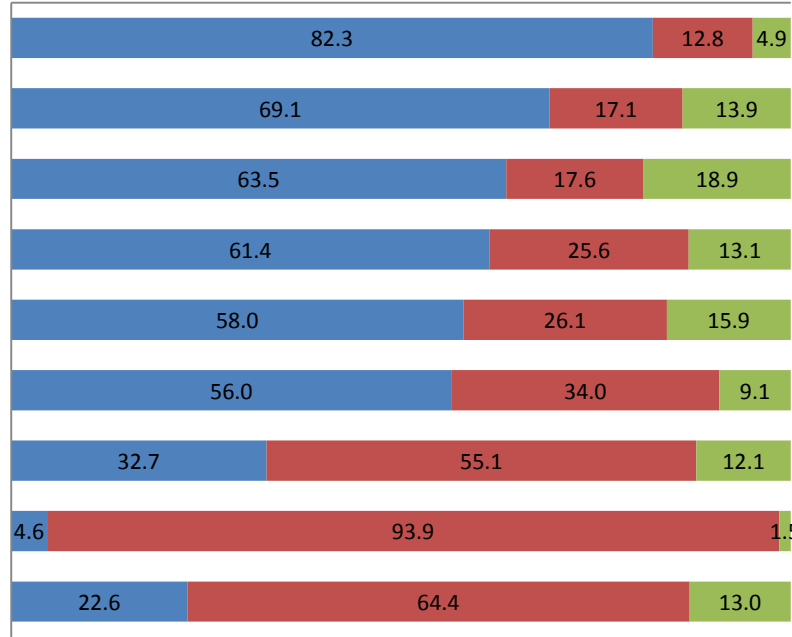
夢プロジェクトの実施主体イメージ



NPOやボランティア、地域での活動に参加する際に苦勞すること または参加できない要因

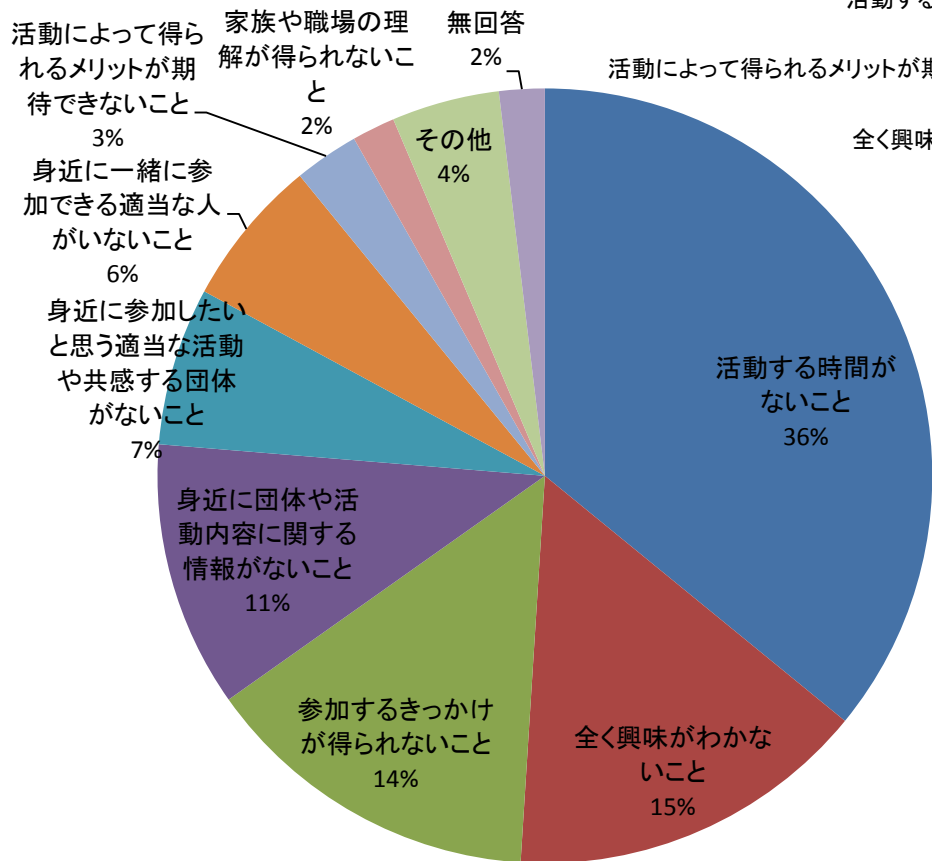
0% 20% 40% 60% 80% 100%

- 参加するきっかけが得られないこと
- 身近に団体や活動内容に関する情報がないこと
- 身近に一緒に参加できる適当な人がいないこと
- 身近に参加したいと思う適当な活動や共感する団体がないこと
- 家族や職場の理解が得られないこと
- 活動する時間がないこと
- 活動によって得られるメリットが期待できないこと
- 全く興味がわからないこと
- その他

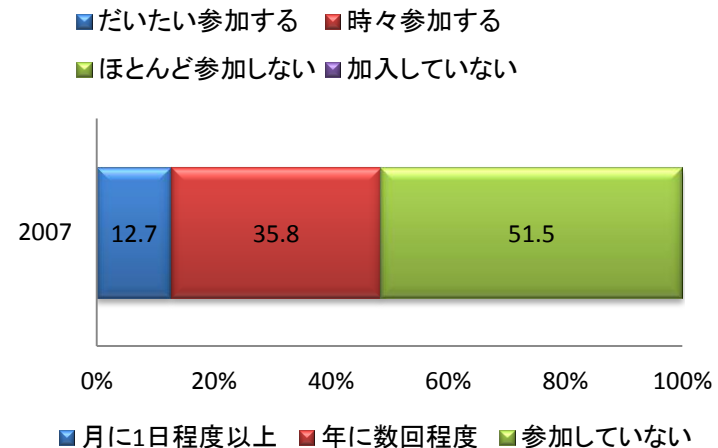
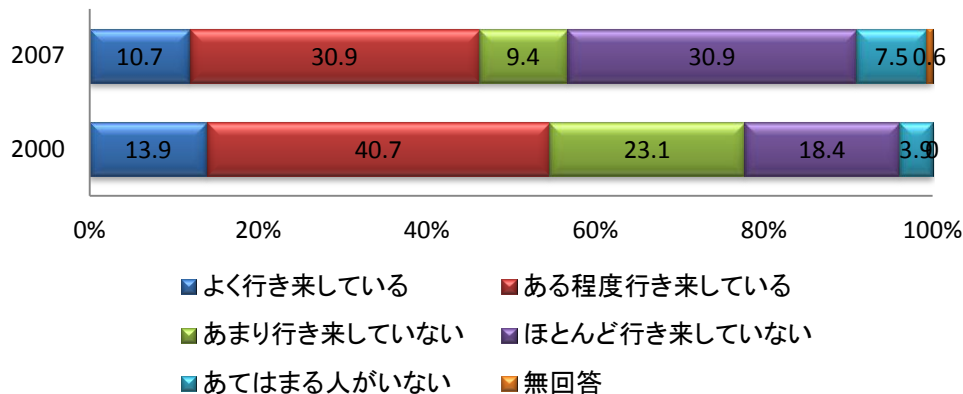
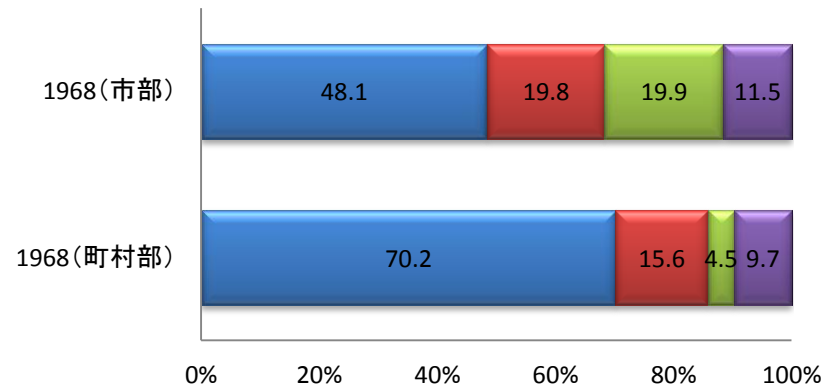
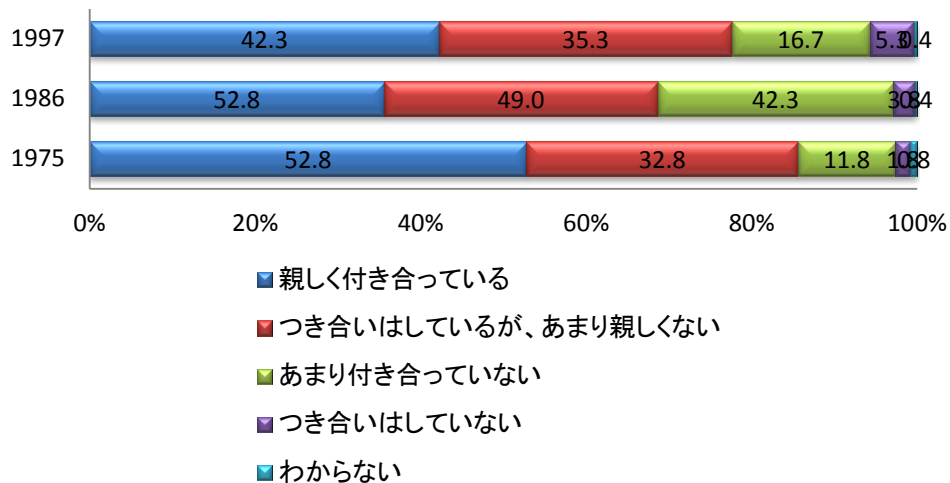


■ 今後は参加したい ■ 今後も参加したい ■ 現在参加している

※有効回答者数：全国の15～79歳までの男女3,908人



地域コミュニティの希薄化の進展



出典: 内閣府の社会意識に関する調査(1975年,1986年,1997年) および国民生活選好度調査(2000年,2007年)

City Profile



■ マドリッド (2008)

人口 : 3,213,000 人

面積 : 607 km²

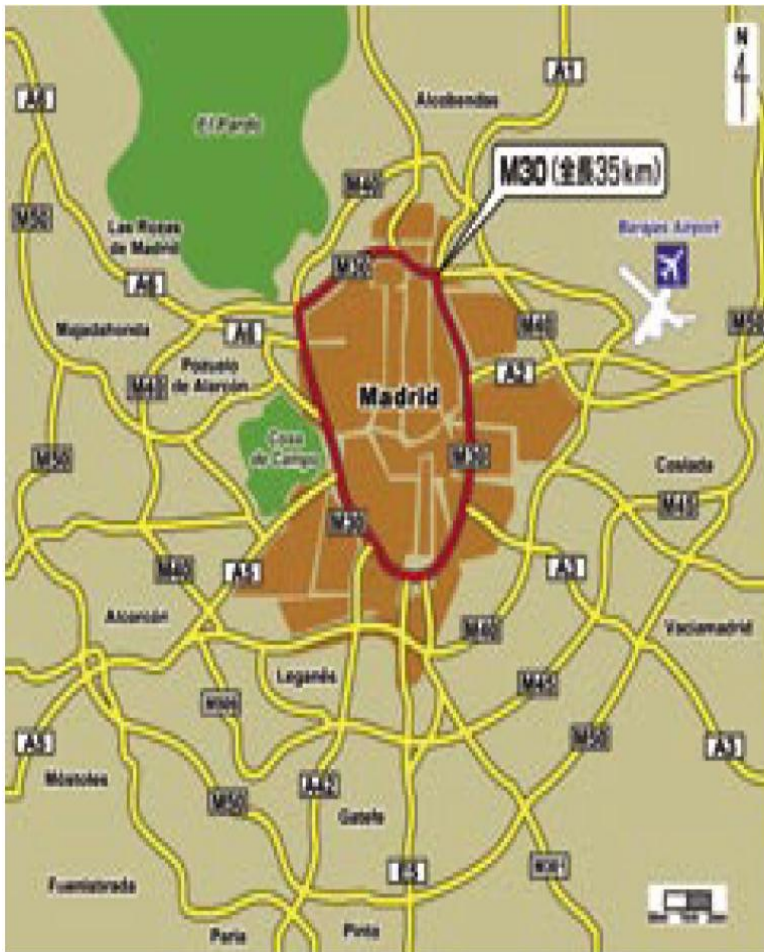


■ 東京23区 (2008)

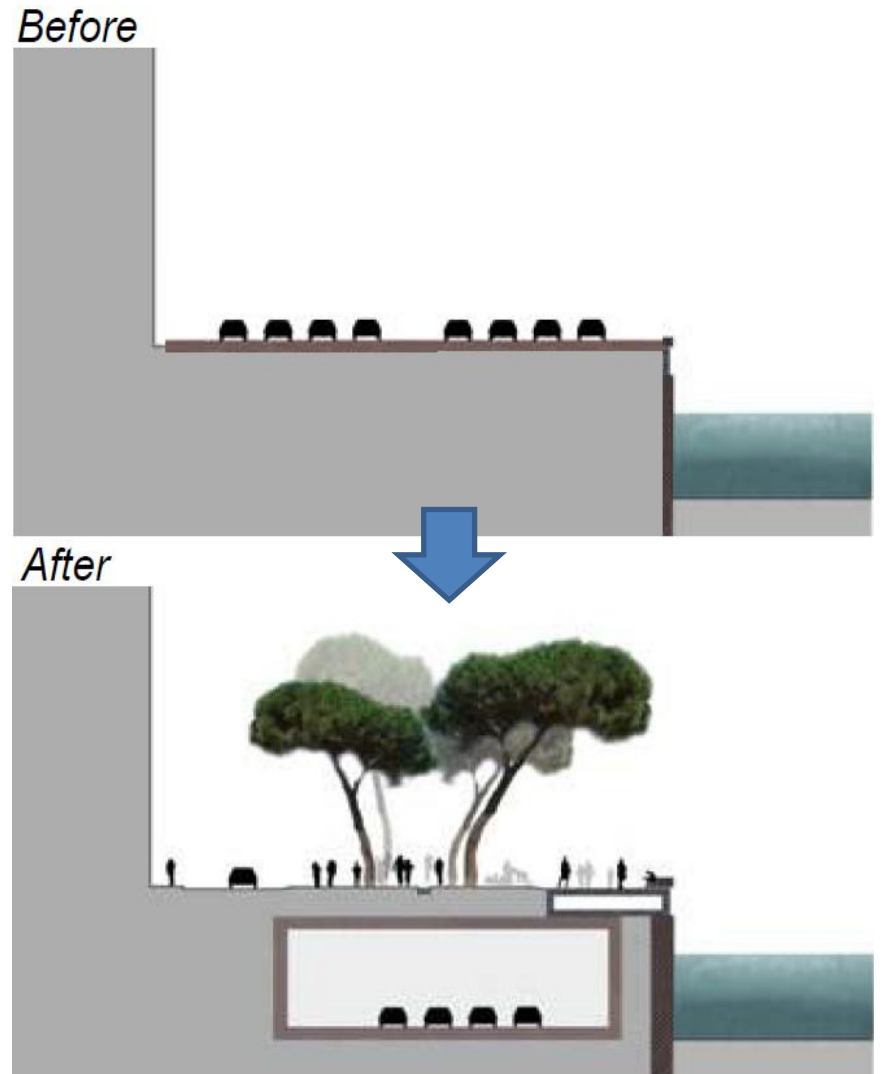
人口 : 8,806,000 人

面積 : 621 km²

スペイン・マドリードの地下化プロジェクト(M-30計画)



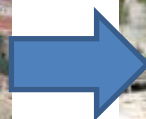
M-30環状道路地図



スペイン・マドリードの地下化プロジェクト(M-30計画)

before

after



スペイン・マドリードの地下化プロジェクト(M-30計画)

before

after



スペイン・マドリードの地下化プロジェクト(M-30計画)



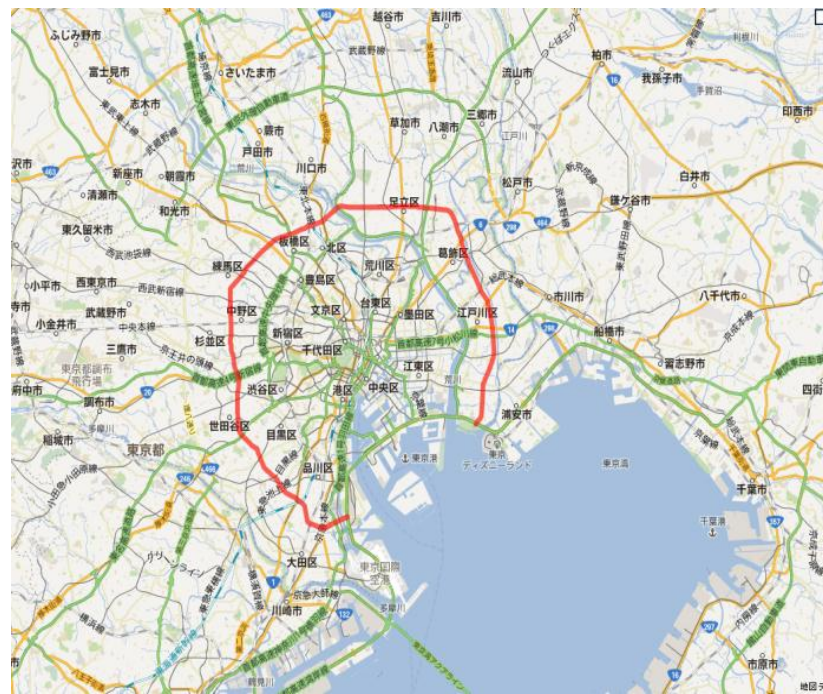
平日：午前6時から午前10時まで「開放化」

休日：午前8時から午後8時まで「開放化」

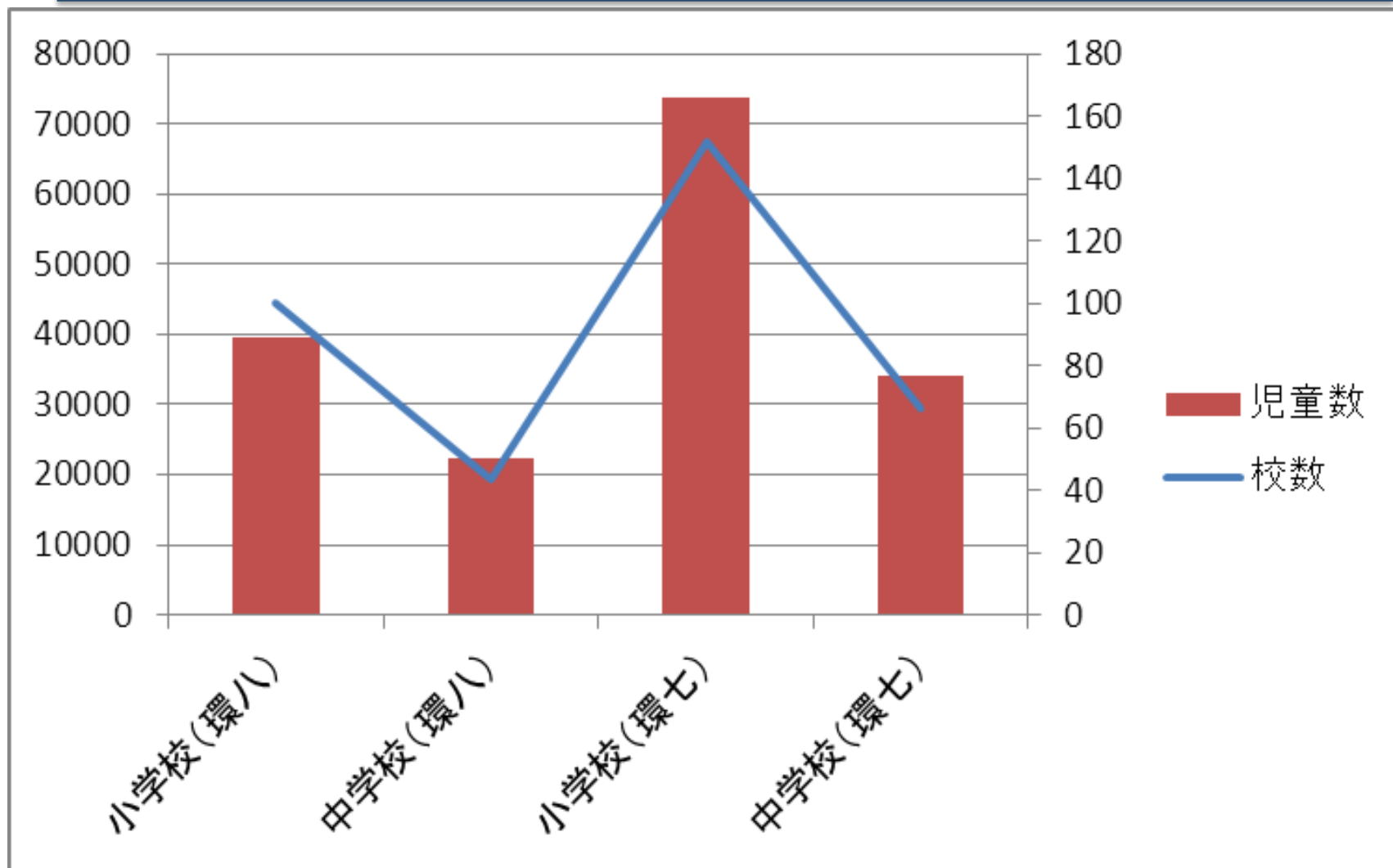
環状七号線



環状八号線

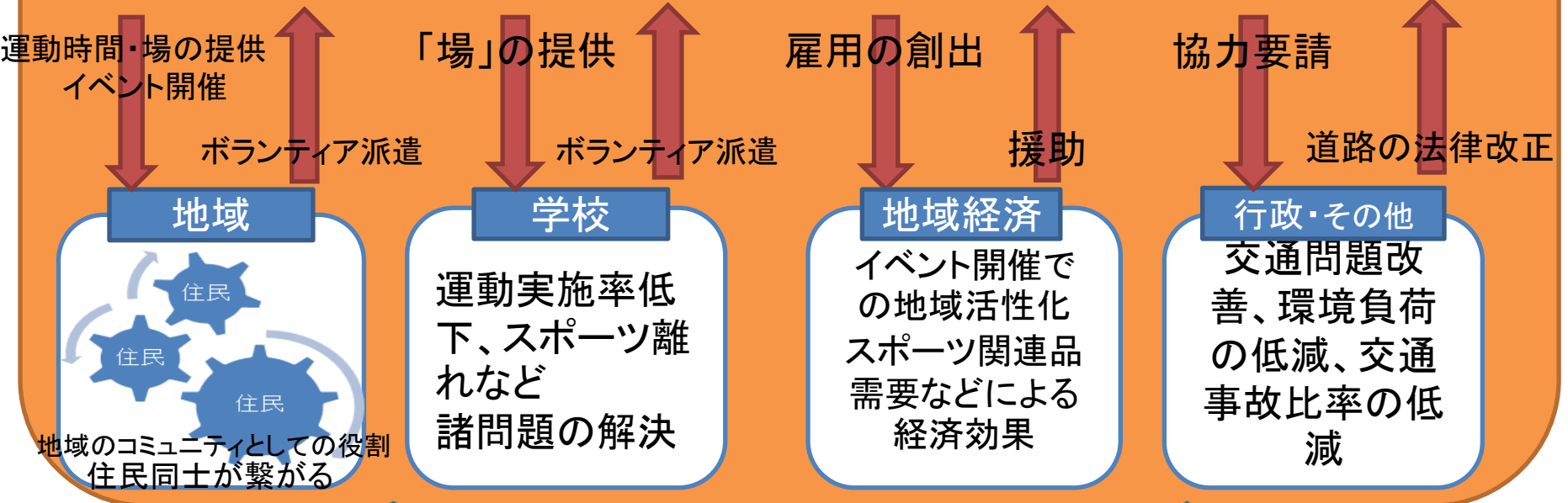


環八・環七周辺(半径1km圏内)の 小中学校の校数と児童数

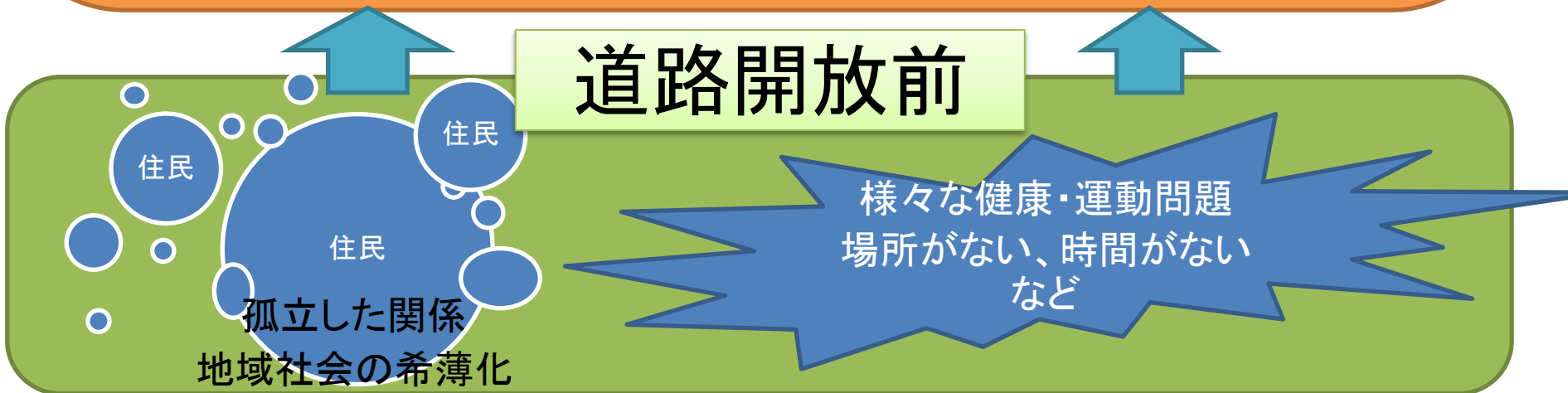


道路開放後

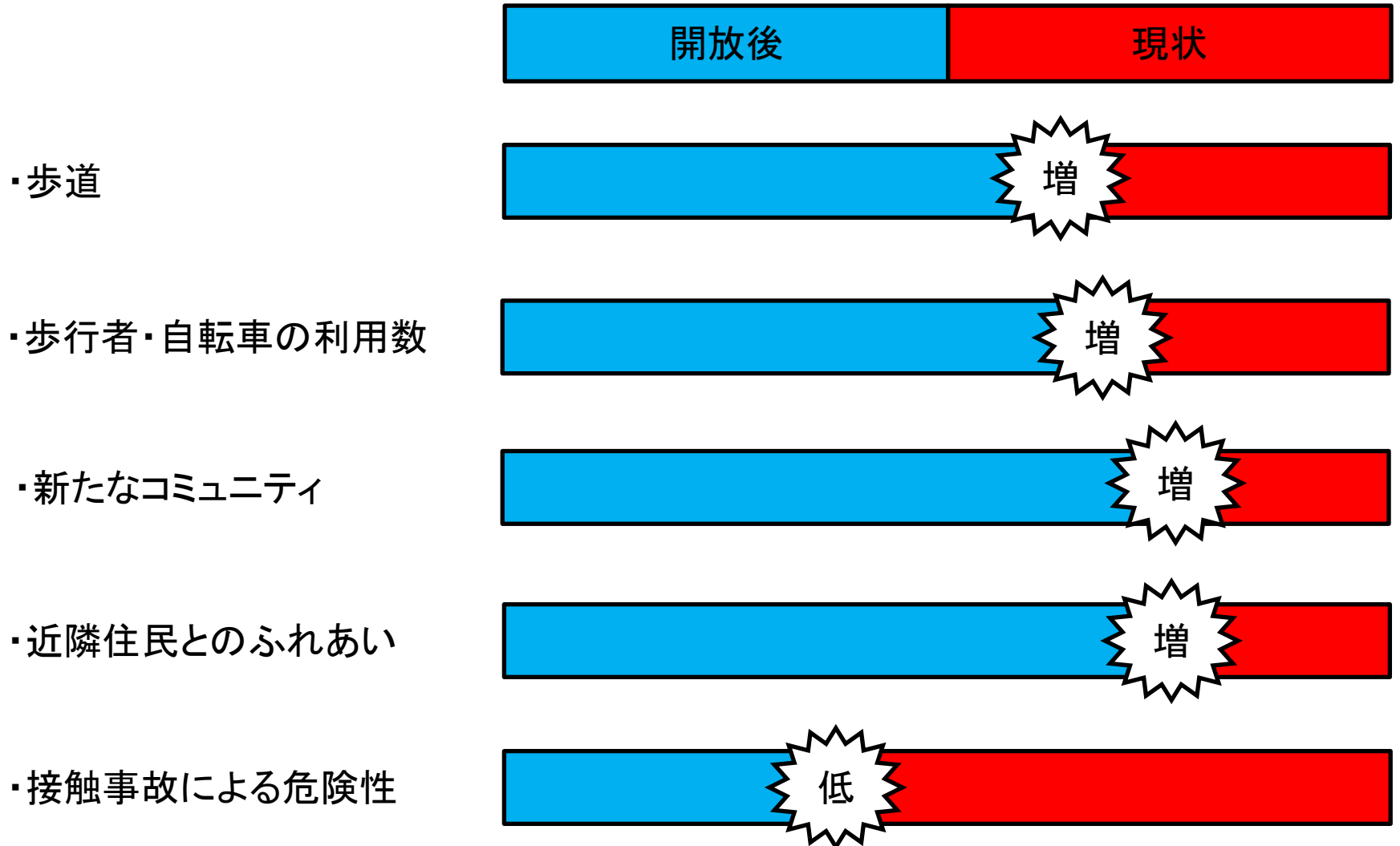
委員会



道路開放前



道路開放後の変化予想



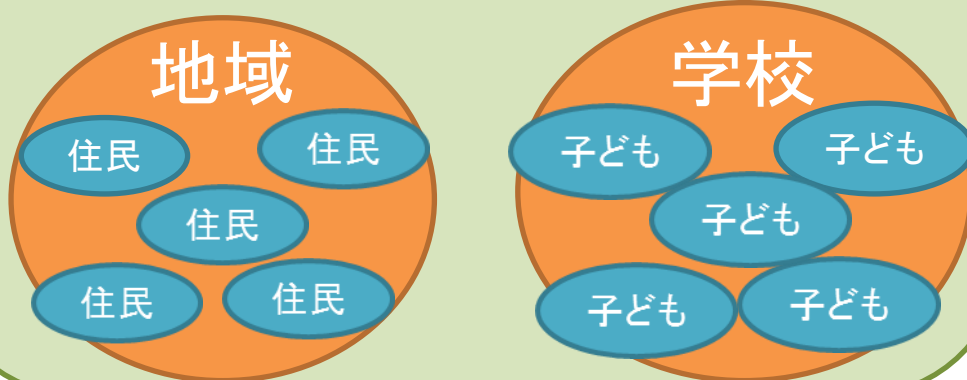
ボランティアの必要性

埋められない隙間
補わなければならない問題

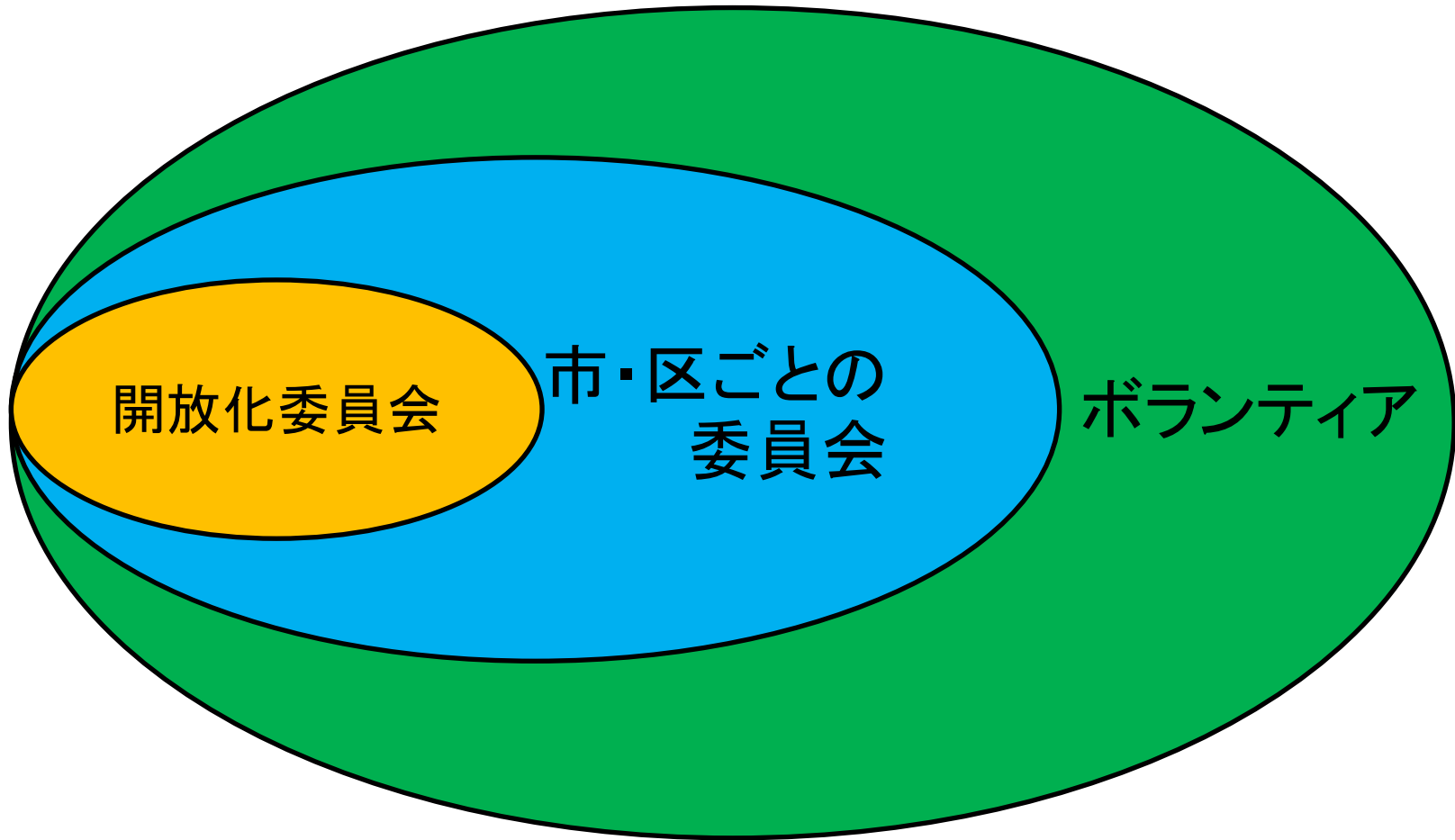


多様性に対応できない行政・社会とは違った活動を展開することが可能

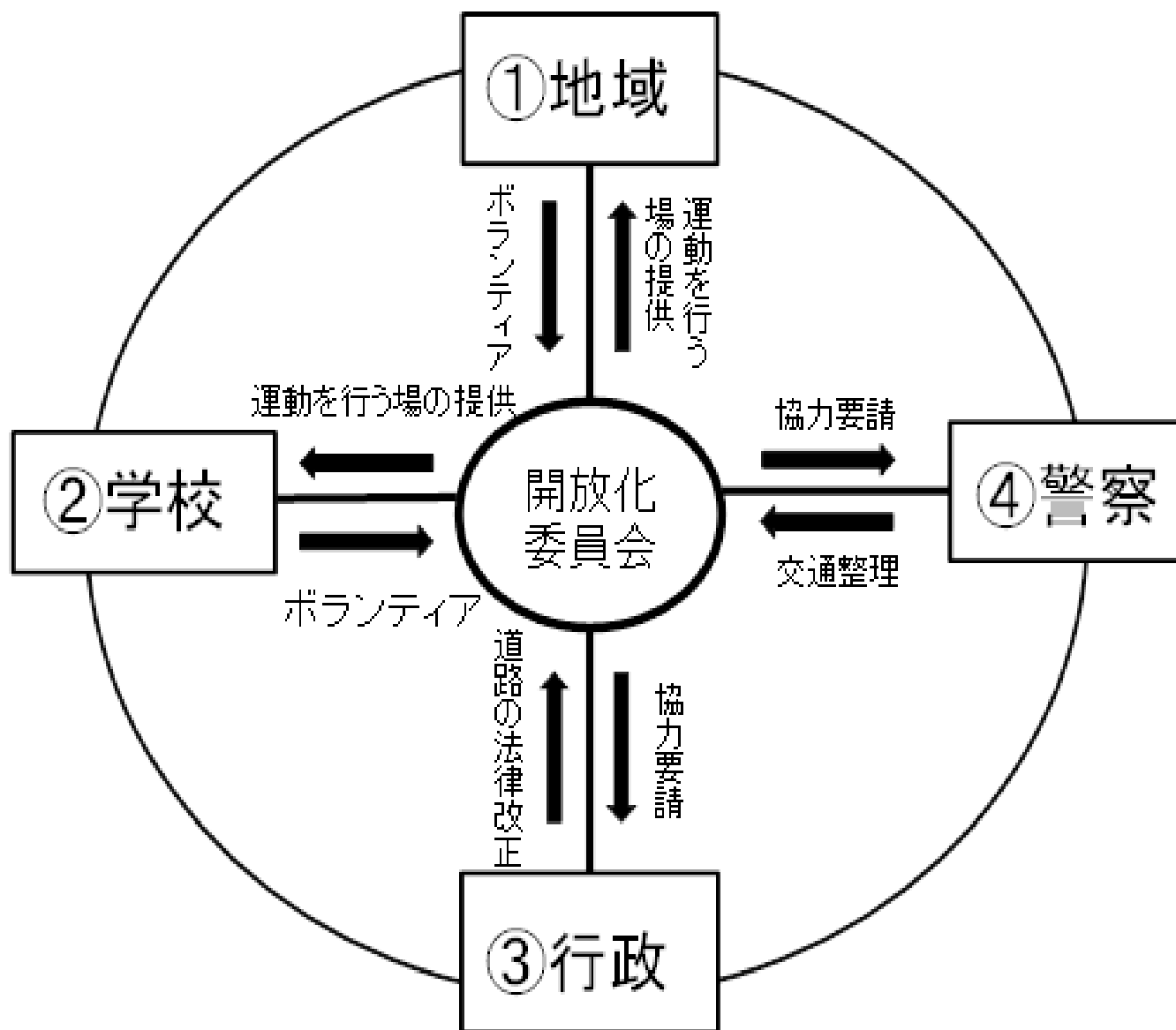
また人々はボランティアを通して人間形成・自己実現・学ぶ



スリードーナツ委員会



開放化委員会



ボランティアの流れ

エントリー

事前学習

※ボランティア活動
(～時間以上)

事後学習

活動報告会

※に戻る

- ・ボランティア活動について理解を深める
- ・活動するための心構えやボランティア同士の交流、仲間としてのチームワークを育む
- ・ボランティアの目標設定

- ・活動を通して学んだこと、問題や悩みを今後どうつなげていくかを検討する
- 活動報告会に備えて準備する

- ・ボランティアの目標を振り返り、どのように達成できたか、ボランティアを通して何を学んだかを報告しあう。

道路開放ボランティア（道ボラ）運動

社会の「環」づくり

- ・道ボラ育成カリキュラムの作成
- ・道ボラ研修会の開催
- ・環七道ボラネットワーク



開放化委員会

- ・安全に車両制限
- ・安全に車両通行



道路開放ボランティア運動

- ① 朝ボラ
(ラジオ体操と朝ボランティア)
- ② サンポボラ
(ウォーキング支援)
- ③ ランボラ
(ランニング支援)
- ④ チャリボラ
(自転車支援)

山手線地下化構想

諸問題

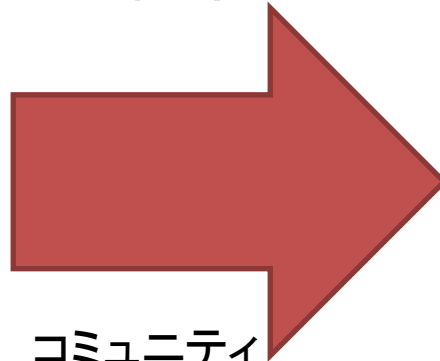
放置自転車

運動実施率低下
(運動の時間・
場所がない)

地域社会の
希薄化

子どもの
体力低下

レンタサイクル
通勤通学で利用



コミュニティ
習慣化・体力向上

諸問題を包括的に解決

山手線地下化

スポーツステーション

レンタサイクル・ランニングステーション

スポーツクラブ

その他施設(レジャー施設など)

都市公園
設置

イベント
開催

施設利用・ボランティア

ボランティア

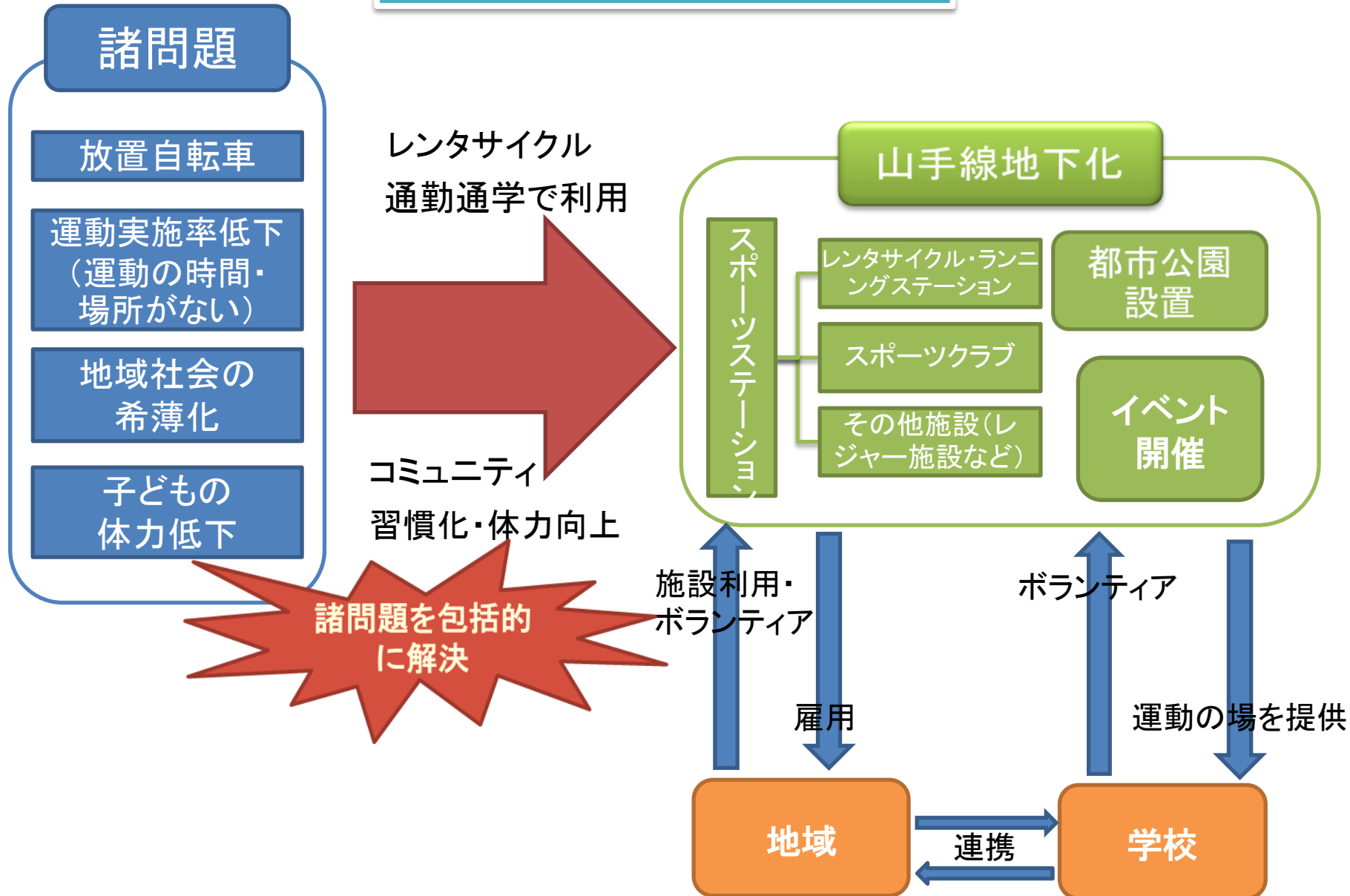
雇用

運動の場を提供

地域

連携

学校



山手線地下化による可能性

- ① イベント開催・スポーツ関連需要でおこる経済効果
- ② 都市公園の設置
- ③ スポーツステーション建設
- ④ 子どもたちの体力低下、スポーツ離れの解消
- ⑤ みんなの環（地域のコミュニティ）としての役割

スポーツクラブの運営費・収益

支出

<初期支出>

	項目	金額(千円)
1	保証金	80000
2	開業準備費	30000
3	敷金	20000
4	宣伝広告費	16400
5	仲介手数料	6500
6	抵当権設定料	622
	合計	153522

<費用>

	項目	金額(千円)
1	家賃	79,560円
2	人件費	79,452円
3	電気・水道代	35,880円
4	諸経費	19,951円
5	宣伝広告費	18,819円
6	リース料	17,626円
7	管理費	13,464円
8	物販仕込	12,044円
9	減価償却費	9,280円
10	駐車場賃料	9,280円
11	借入金利	5,819円
12	消耗品費	5,018円
13	法定福利費	3,978円
14	燃料費	3,525円
15	事業所税	1,578円
16	障害・賠償保険料	615円
	合計	312,738

収入

<経常収入>

	項目	金額(千円)
1	会費	378480
2	その他収入	28490
3	物販収入	14760
4	入会金	5720
5	入会手数料	4100
6	ビジター利用料	2880
	合計	434430

利益

項目	金額(千円)
店舗損益	121,692

レンタルサイクルの取り組んでいる自治体の例

- にいがたレンタルサイクル
新潟市の市民団体が市と協力する(非営利)
- まちなかサイクル(岐阜市)
- まちかどミナポート(京都市)
- 都市型レンタサイクル(JR西日本)
- がやりん(世田谷区) etc

このプロジェクトにあたっての抵抗

- 地下化、道路閉鎖にかかる費用
- 道路閉鎖でおこる経済損失
- 全体の運営・設備・工事費用
- 公園、その他施設などの建設費
- 人件費

などなど



経済面の抵抗ばかりなのではないか？

スポーツイベントの費用(例 東京マラソン)



運営費用		23年度予算
1 東京マラソン2013広報・演出関係費	告知費	289. 200円
	放送関係及び広報記録費	
	表彰式及びレセプション関係費	
	マラソンEXPO関係費(選手受付含む)	
2 東京マラソン2013安全対策費	交通安全対策費	247. 500円
	交通規制関係費	
3 東京マラソン2013競技運営費	競技運営費	831. 000円
	選手招聘及び賞金関係費	
	コース運営費	
	ボランティア関係費	
4 東京マラソン2013エントリー記録費	申込処理費	125. 000円
	記録管理費	
5 その他イベント運営費	イベント運営費	41. 000円
6 公式クラブ運営費	公式クラブ運営費	44. 600円
7 チャリティ運営費	チャリティ運営費	18. 200円
8 事務局関係費	事務局関係費	176. 700円
	租税公課(法人税等)	
9 予備費	予備費	30. 000円
支出計		1. 803. 200円
		(単位・千円)

山手線地下化の経費

副都心線(17駅:20.2キロ)の池袋→渋谷間(8駅:8.9キロ)の地下化に約**2700**億円

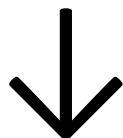
山手線一周29駅34.5キロ
約**3**兆円(車両のサイズが幅広)



山手線地下化経費の創出

山手線1日乗車数 × 365日 × 10円 = 188億940万6300円
(5,153,262人)

3兆円に達するまでには・・・



約15年



夢プロジェクトの実施主体イメージ



まとめ

